

自昭和八年一月
至昭和八年十二月

道路の改良

第十五卷

道路の改良第十五卷總目錄

(自昭和八年十二月
至昭和八年十二月)

□ 繪

神奈川縣津久井郡鳥屋村農村振興道路事業實況

神奈川縣高座郡小出村農村振興道路事業實況

旭橋美事に竣成(北海道)

朝日橋開通(岩手縣)

故道路改良會副會長内田嘉吉君

阿蘇山下ドライブウエー

竣功せる且度橋(滋賀縣)

戸田橋の偉觀

静岡縣金谷日坂間國道

片瀨橋(神奈川縣)

梅島橋(東京府)

京阪國道京都府下鳥羽橋

神明國道兵庫縣下灘邊り

號數

一 一 一 二 三 三 四 五 六 六 七 七

祇園橋（鳥取縣）

八場大橋（群馬縣）

竣功した周匝橋（岡山縣）

坂戸橋（長野縣）

千歲新橋（群馬縣）

國豐橋（大阪府）

阿彌陀橋（鳥取縣）

朝鮮の道路（慶尙南道）

大阪中之島公會堂に於ける道路大會其の一、其の二

卷 頭 言

甲 詞

論 說

昭和八年の道路改良事業に就て

國土計畫と國立公園と道路

道路運輸と鐵道水運乃至空輸との間の統制及協力に關する研究

自動車運送と道路の建設並びに維持

道路の今昔

道路觀の發達

我國道路政策の缺陷

東京市交通機關の統整

國立公園計畫と道路

道路運送の發達と自動車保險の必要

道路費の負擔について

街路管理に關する收支關係

交通行政の整理と統一

デューギの主權否認論とバイオクラシー

道路政策の更新

道路政策改訂論

道路政策の轉機

唐澤俊樹	田村剛	橋崎敏雄	島田孝一	藤原俊雄	野村兼太郎	橋崎敏雄	田川大吉郎	田村剛	島田孝一	野村兼太郎	菊地慎三	田川大吉郎	長谷川久一	床次竹二郎	唐澤俊樹	水野鍊太郎
號數	一	二	三	三	四	五	六	七	八	八	九	一〇	一〇	一一	一一	一二
頁數	三	八	二二	三三	一一	三三	三三	三三	三三	三三	一〇	三三	三三	三三	三五	三三

道路政策の更新

時 論

バス事業の府縣營を提唱す

土木會議論

大阪のGO・STOP問題道路警察權を擁護せよ

大阪のGO・STOP事件疑義

府縣土木部の増設に就て

道路大會

道路大會への待望

道路運送と鐵道運送との協同協力に付て

省營自動車と道路

道路大會の後に來るもの

三陸津浪と道路

大阪府の道路大觀

六甲山縱走道路計畫

青木精一 二六

四

楠宗道 二二〇

田中好 三一八

路政僧 七一〇

氷河比路志 八一八

路政僧 一〇一六

中川吉造 一一二

喜安健次郎 一一四

日淺寛 一七

武井群嗣 一一一

前川貫一 二二四

三輪周藏 一三七

吉岡計之助 一三一

路面改良の對策

道路大會と所感の一、二

道路大會錄事

研 究

織田信長の道路改良

交通企業として觀たる鐵道と自動車

道中宿驛に於ける人馬繼立と其取締の一斑

菅君の路政論を讀むで

平安京の街路樹

東海道岡崎宿の人馬繼立機構

違式註違條例に觀えたる道路交通取締法規

外人の江戸參府紀行に見たる道路上の觀察若干

道路と電信電話線との關係に就て

運輸系統の變遷と港灣を中心とする道路

與田喜知藏 一

三七

村山喜一郎 二

四六

二 六九

長谷川久一 一

二二

菅健次郎 一

二六

和田篤憲 一

三二

田中好 一

五二

瀧川政次郎 二

二二

和田篤憲 二

三二

田口二郎 二

四四

和田篤憲 三

二三

氷川比路志 四

三四

島野貞三 四

一一

七六五 四二一

府縣市町村より見たる道路事業

再び道路と電信電話との關係に就て

道路と電信電話線に就て氷川氏に答ふ

遞信電柱の建移設に就ての一考察

英國道路交通法

交通の統制

自動車交通事業法施行令其の他に就て

檜崎博士の現代道路論を讀む

國道系統の一考察

資料

西部アメリカに於ける自動車交通調査

救農土木の第二年度

Chester, H. Gray 述「農民と道路」

平井良成

一一〇九八
一六一一三
五一八四九

氷川比路志

淺見親

i i 生

増田甲子七

藤田宗光

江口巳年

田中好

江守保平

田口二郎

武井群嗣

田口二郎

田口二郎

技 術

自動車交通に對する經濟勾配に就て

瀝青質の試験に關して

結構新論

コンクリート鋪裝版の解法

混凝土及鐵筋混凝土鋪裝

原口忠次郎氏の「コンクリート」鋪裝版の解法に就て

瀝青質材料の針度アブラム稠度其他

セメントコンクリート道路に關する各國のレポートを讀んで

構造物の實驗解法

瀝青乳劑の規格中特に指定すべき項目について

Cross Method に就て

瀝青質材料の軟化點其他

コンクリート鋪裝の龜裂及破壊に就て

藤井眞透	一	六八
西川榮三	一	一〇三
石川時信	一	一二四
原口忠次郎	一	一三三
	二	一三八
中末郁二	二	一七三
石川時信	二	一九六
西川榮三	三	二四四
大石義郎	三	二六〇
青木楠男	三	二七六
	四	二七〇
西川榮三	四	二七七
大野博	四	二四四
西川榮三	五	二三四
大石義郎	五	二五二

瀝青質材料の凝固點、延性等

瀝青質材料の引火點、燃燒點、自然發火溫度

二層式瀝青土鋪裝成績

アスファルト煉瓦の滲透率其他の試験法について

坂路瀝青土鋪裝滑止の處理方法

土木工専用セメントの化學的考察

桁に於ける荷重、剪力、彎曲力率、撓角及撓度の表示法及其簡易化に就て

關西地方に於けるコンクリート鋪裝

鎔接鋼橋

鋪裝用瀝青乳劑の規格並に試験法の比較

座談會

道路維持座談會

海外道路時事

西川榮三 六五二

西川榮三 七六六

米田正文 七八五

西川榮三 八六八

本間雅治 八〇

西川榮三 五九〇

石川時信 五七一

江守保平 八四

青木楠男 二四

西川榮三 五六

七六五四三

八八六九
七二一六七

海外道路時事

史料

英國道路物語

物部長穗

山下定文

一	二	三	四	五	六	七	八	九	〇	一	二	三
一四六	一〇一	一〇五	一二一	八九	七八	一一〇	九三	八九	七一	九七	〇二	〇二

〇八七五
七九一〇
七九五三

漫
録

道路工事雜感

道草をたべる

六十四議會を覗いて

農村振興土木に現はれた佳話

三陸津浪の跡を訪ねて

我は我たる驛名と彼は彼たる橋名

良二千石會議の遙望

土木主任官會議のぞ記

交通情勢調査の前期を觀て

すゞみ臺

道路大會の開催に就て

土木部課長の異動を見て

火星への大道

搖返した土木部課長異動

楠宗道	二	一〇七
池本泰兒	三	一一二
路政僧	二	一二四
路政僧	三	一二七
谷口松雄	四	一三八
公木生	五	一一二
夏木圓卓	五	一一四
十公	六	八五
谷口松雄	七	一二三
十公	八	一〇七
路政僧	九	九八
丹波浪人	一〇	八五
長谷川久一	一一	一〇三
丹波浪人	一一	一〇六

崇られた土木豫算

第一回道路大會に於ける感想

時評

路政時評

土木會議を覗いて

隨筆

路政縱横

農振土木事業費の流用

議政の凝視

國道ドライブの漫談

政海の凝視

政治は安定か否か

時事雜感

老人退却の是非

鋪裝に關する切望

路政僧 一三二〇

二二五

丹波浪人 八一五

二二四八

丹波浪人 三三三

二二三七

M T 生 四一三九

白洋漁夫 五二〇

白洋漁夫 六一四

白洋漁夫 八七

一一三七

弦田彌多郎 七一四二

九一〇七

大口喜六 九一〇七

政治界に異状なし？

道路大會參列諸氏に望む

交通今昔譚

紹介

長谷川久一氏著「路の臺の露」を読む

滿洲に於ける土木事業と都市計畫施設

田中好氏の「土木行政」を見て

米國に於ける路傍美化の發展

千葉縣の道路改良計畫

北海道に於ける農村振興道路改良事業

寶塚自動車専用道路を視る

隠れた路政の苦心

土木費流用問題

昭和六年度失業救濟國道改良工事に於ける労働者使用狀況並工事費などに就て

白洋漁夫 九一〇九

水河門外漢 一〇九八

安岐良 一一一一

田中好 一五三

三浦馨雄 一〇五二
一〇五二
三〇二六
五一九九

谷口松雄 一八四

小島成美 二一六六

一記者 二一七六

谷口松雄 三一三七

江守保平 三一四六

田中好 三一五四

氷川生 四一四一

遠藤貞一 四一四四

山梨縣に於ける道路愛護作業

第七回國際道路會議の議題

昭和七年度時局匡救土木事業の成績を顧みて

岡山縣の道路愛護事業

日本に於けるセメント工業に就て

神奈川縣道路愛護共進會昭和七年度授賞式

滋賀縣七年度産業振興土木事業大要

滿洲國の道路事業と自動車

第七回國際道路會議の日程に就て

その後の福岡縣試驗鋪裝

鋪裝工法等の見學

國都新京の建設

鳥取縣道路愛護治水施設保全團體表彰制度

碓氷峠修路成る

四 一五一

藤井眞透 五 一三三

岸田正一 六 一六六

長谷川勝伍 七 一四四

狩野宗三 七 一四七

藤井光藏 八 一三三

田邊良忠 一〇 一一七

中川正左 一一 一一九

藤井眞透 一一 一一六

坂本一平 一一 一二七

用澤傳六 一一 一三三

中野金次郎 一二 一六五

三宅發造 一二 一七五

金森誠之 一二 一七九

通信

地方通信

假面劇

假面劇

法令

收用地の不法處分に對する訴
收用審査會裁決取消の訴

二一〇九八七六五四三二一

八五一一二六二四六五八八
八二九一七二〇五〇九〇八

二一〇九八七六五四

九六二一三七三五六
七二八八七九四二四

三一六四
一九五

質疑應答……………藤村 藤治 一八三
 ……一六四
 ……一六五

農村振興及産業振興國庫補助道路改良工事竣功認定申請様式に關する件通牒……………四
 昭和六年第八〇號土地收用審査裁決に對する訴・昭和五年第三四六號土地收用審査會裁決取消請求の訴……………一六六

法令日記……………

昭和七、一二、二七宣言、昭和六、第二一九號收用審査裁決不服の訴……………五
 ……一五七

農村振興府縣道改良事業に關する件通牒……………六
 ……一三八

昭和八年度農村振興其他土木事業資金融通に關する件通牒……………七
 ……一八三

囑託登記に關する件・契約履行請求控訴事件長崎控訴院昭和八、二、一三言渡・所有權確認動産

引渡請求控訴事件東京地方裁判所昭和八、二、四言渡・損害賠償請求訴訟事件東京地方裁判所昭

和八、四、一九言渡・詐欺被告事件大審院昭和八、二、二宣告

入札及請負資格停止處分取消請求の訴……………八
 ……一四一

都市計畫事業街路修築費負擔金に關する訴

土木會議官制……………九
 ……一二一

土地收用損失補償請求事件

收用審査會の裁決に對する不服の訴昭和七、第二六一號昭和八、五、三〇宣告……………一一一六五

雜報

國際道路問題調查委員會……………一九六

故内田副會長……………二一八九

國際道路問題調查委員會・農村振興土木事業の進捗狀況・綿布を道路建設材料として使用開始

三重直轄國道用地收用補償額に關する訴訟……………三一六六

國際道路問題調查委員會・唐澤土木局長の土木史談編纂事業

昭和八年度農村振興其他土木事業各府縣割當決定……………四一七五

計報本會理事中川正左氏令息讓二氏と鐵道省建設局計畫課長池原英治氏……………五一六四

國際道路問題調查委員會・全國交通網調查會設立・昭和八年四月現在の各府縣土木部課長、道路

課長並に道路及び土木主事氏名一覽表・内務省員大運動會

土木事務打合會……………六一四二

國際道路問題調查委員會・全國交通網調查會・神明國道竣功式・京阪國道竣功式・道路交通情勢

調查要綱

國際道路問題調查委員會・全國交通網調查會・京津國道……………七一九六

竣功式・滿洲國國道局主任技術官の赴任・九州土木課長會議

理事會開催

八 一四五

評議員會並定時會員總會開催・國際道路問題調查委員會・天龍川橋開通式・東海道五縣道路講習會

幹事會開催

九 一二五

道路大會開催準備協議會・土木會議議員並幹事決定・圖書編纂協議會開催・國際道路問題調查委員會

幹事會開催

一〇 一三三

國際道路問題調查委員會・交通審議會員及幹事の任命・內務省廳舎の移轉・道路大會彙報・土木會議招集評議員及理事決定

一一 二〇四

滿洲國市長一行招待・理事會・土木事業費に關しての建議・本會定疑中の改正・全國交通網調查會・內務省所管昭和九年度時局匡救土木事業費豫算內容

附 錄

自動車交通事業法其他

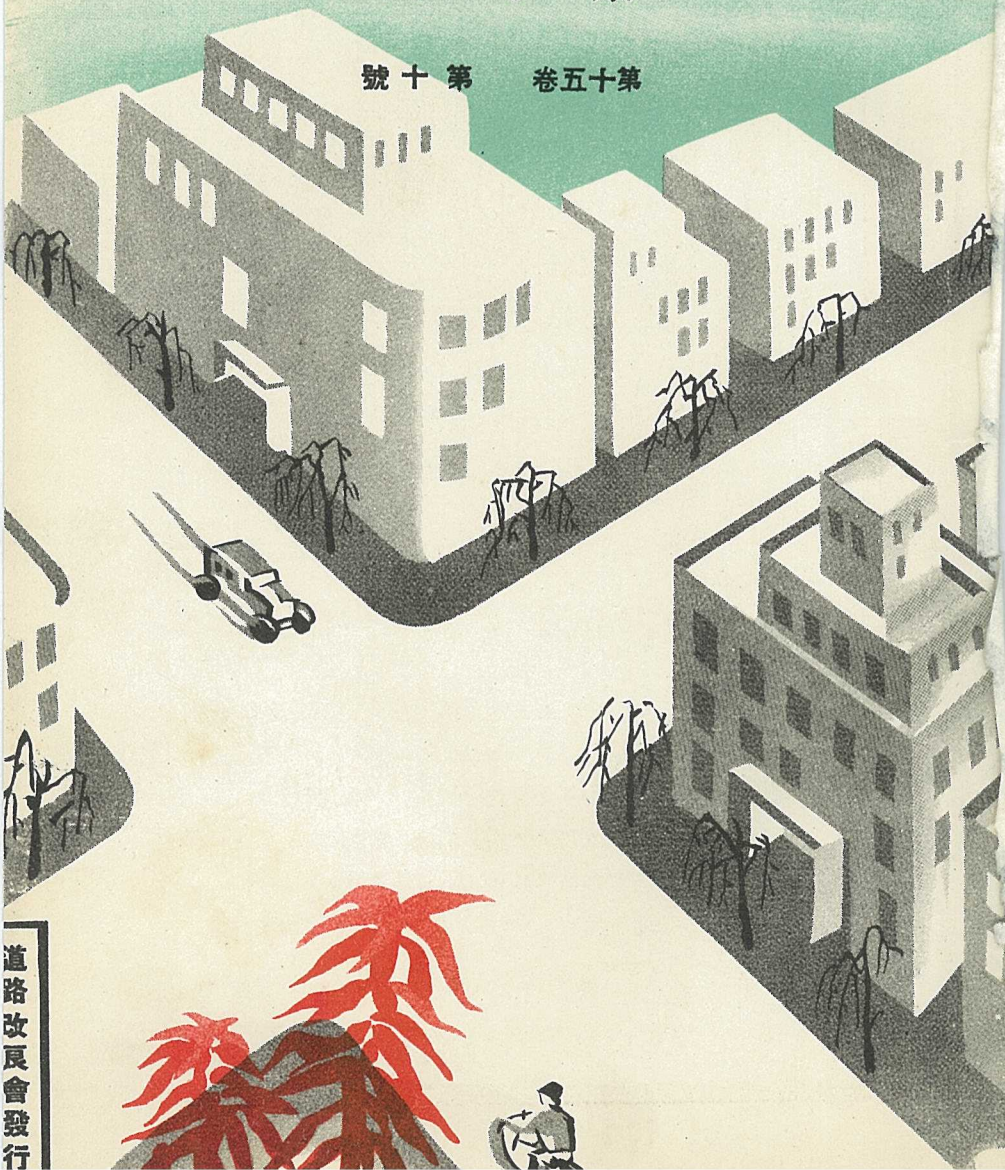
一二

昭和七年九月二十五日印刷
和七年十月一日(毎月一回)日發行

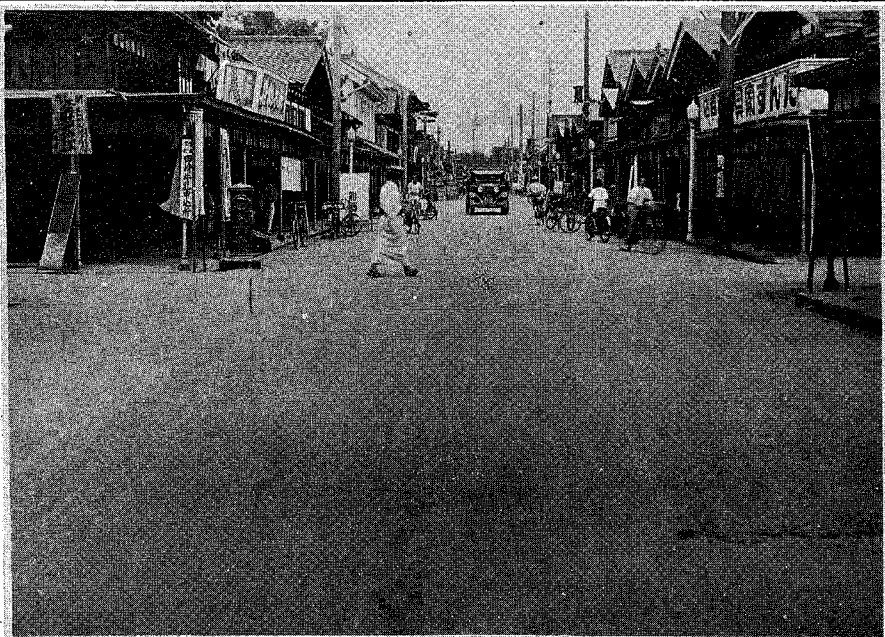
道路の改良

禁轉載

第十號 第五十卷



道路改良會發行



長岡市本町通ペノリシツク舗装道路

(最モ進歩セル アスファルト マカダム)

昭和八年九月竣工 日本石油株式會社道路部施工

日本石油株式會社道路部

- 營業種目** アスファルト其他各種道路及一般工事請負
 特許ワーレナイト・ビチュリシツク舗装東洋一手施工
 特許ペノリシツク舗装東洋一手施行
 特許デツプファルト舗装一手施工
 日石アスファルト乳劑製造販賣、工事請負
 各種石油製品・國產アスファルト製造販賣
- 營業所** 東京、横濱、名古屋、大阪、京都、福岡、下關、
 小樽、新潟、秋田、臺北、京城、大連、新京

道路鋪裝用

專賣特許瀝青乳劑「エマルピア」
製造販賣並鋪裝工事請負

瀝青乳劑「エマルピア」種類

透入用 瀝青乳劑「エマルピア」

不凍性 瀝青乳劑「エマルピア」

急硬性 瀝青乳劑「エマルピア」

濃厚 瀝青乳劑「エマルピア」

混合用 瀝青乳劑「エマルピア」

東京瀝材工業所

東京市京橋區銀座西三丁目一番地礫々館

電話 京橋 一、三二五番

製造工場 橫濱市鶴見區菅澤町一九五

電話 鶴見 一、一三一番

大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座二丁目二、九

電話 京橋自二、一三〇 至二、一四九番

— 說明書贈呈 —

道路の改良 第十五卷 第十號 目次 昭和八年十月一日發行

口繪 坂戸橋 (長野縣)
千歲新橋 (群馬縣)

卷頭言 (二)

論說

交通行政の整理と統一 田川大吉郎 (三)
デユギーの主權否認論とバイオクラシー 長谷川久一 (二三)

時論

府縣土木部の増設に就て 路政 僧 (二六)

研究

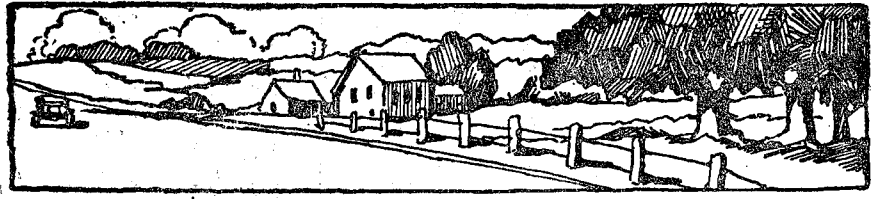
府縣市町村より見たる道路事業 (六) 平井良成 (二六)
交通の統制 (三) 地方技師 藤田宗光 (三三)

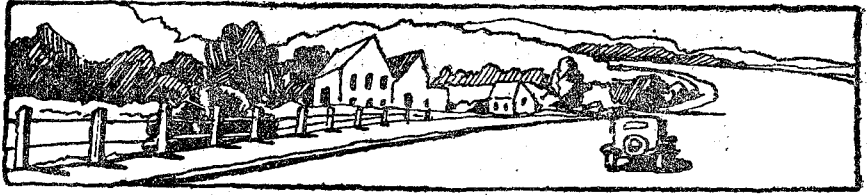
技術

土木工事に用セメントの化學的考察 (二) 内務技師 西川榮三 (四〇)
桁に於ける荷重、剪力、彎曲力率、撓角及撓度の表示法及其簡易化に就て (二) 東京市石川時信 (五)

海外道路時事

佛國國道構造細則 米國大都市に於ける街路交通 内務省土木試驗所長 物部長 穗 (七)
米國産業復興事業の道路工事 佛國イゼール河の新吊橋 工學博士





史料

英國道路物語(十三).....山下定文(七)

漫録

土木部課長の異動を見て.....丹波浪人(五)

隨筆

道路大會參列諸氏に望む.....水河門外漢(六)

批評と紹介

滿洲地方に於ける土木事業と都市計畫施設(十二).....折務技師 三浦啓雄(二)

滋賀縣七年度産業振興土木事業大要.....(二七)

地方通信

北海道地方.....東北地方.....關東地方.....北陸地方.....東山地方.....東海地方.....中國地方.....四國地方.....(二九)

假面劇

言ひ易く行ひは如何.....交通のいろく.....眞晝の提燈打ち.....豊年の崇りか.....僕の目と耳.....(三八)

法令

法令日記.....(三三)

雜報

幹事會開催.....國際道路問題調査委員會.....交通審議會員及幹事の任命.....内務省廳舎の移轉.....道路大會彙報.....土木會議招集.....叙任辭令.....編輯室の内外.....(三五)(三七)(三九)

會 告

道路大會開催

一 開 催 期 日 昭和八年十月二十五日、同二十六日

二 會 場 大阪市中之島中央公會堂

三 參加者資格 (1)本會會員、(2)道府縣市町村ヨリ派出セラレタル者、(3)

道路關係者又ハ篤志家ニシテ府縣ヨリ紹介セラレタル者

四 參加者總數 八百名(滿員ノ場合ニハ參加ヲ御斷リスルコトアルヘシ)

五 申 込 方 法 申込書ニ金參圓ヲ添付シ九月十五日迄ニ道府縣土木部課

長ニ提出ノコト

六 議題提出方法

(1) 道路ニ關シ政府ニ建議スヘキ事項及研究セラレタル事項ノ報告ヲ提出スルコトヲ得

(2) 議題ノ提出ハ題名ニ簡單ナル提出理由ヲ付シ文書ヲ以テ九月十五日迄ニ道府縣土木部課長ニ提出セラルルコト

(3) 提出議題ノ取捨ハ本會ニ一任セラルルコト

七 贈 呈 品

(1) 道路大會參加記念品 壹 個

(2) 第七回萬國道路會議提出意見書 壹 冊

(3) 全國國道及指定府縣道圖 壹 枚

(4) 雜誌「道路の改良」大會號 壹 冊

八 參加者特典

(1) 參加者ノ居所ヨリ會場迄ノ鐵道賃金ニ割引券ヲ呈ス
(汽船賃ノ割引ニ關シテハ交渉中)

(2) 實地視察ノ場合ニ於ケル自動車賃ハ本會ノ負擔トシ鐵道又ハ軌道ノ運賃ハ無料又ハ割引スルモノトス

大會次第

第一日 昭和八年十月二十五日(水曜日)

一會 議 午前九時 水野會長開會ノ辭

內閣總理大臣、內務大臣、大阪府知事、大阪市長、大阪府市會議長、大阪商工會議所會頭祝辭、建議事項附議

二午餐會 正午 於中之島中央公會堂大食堂(本會主催)

三會 議 午後一時三十分 研究事項附議

米國大使館提供活動寫真映寫

四招待會 午後五時 於中之島中央公會堂大食堂(大阪府市主催)

第二日 十月二十六日(木曜日)

視察及招待會

第一班 午前九時 大阪天守閣集合

午前十時 發

視 察

阪神國道

尼寶自動車專用道路

六甲ドライブウエイ

六甲ケーブル 午前十一時二十分六甲山上着

招待會

六甲山上(晝食) (兵庫縣主催)

府縣道大阪池田線、大阪箕面線 午前十一時

招待會 箕面公園(晝食) (大阪府主催)

視 察

午後八時 隨意

招待會

大阪歌舞伎座

第四班 午前九時 大阪市發

視 察

午後五時三十分(大阪府市主催)

視察

六甲ドライヴウェイ

ロープウェイ

ゴルフリンク

植物園

湊川神社参拜

神明園道及舞子公園(車中視察)

明姫園道ノ一部

明石公園

午後一時四十分
午後二時發

午後三時
午後三時三十分發

招待會

大阪歌舞伎座

第二班 午前九時三十分 大阪市發

視察

無軌條電車

午前十一時京都大宮四條着
午前十一時四十分發

招待會

都ホテル(晝食) (京都府市主催)

午後一時卅分發

視察

大津

石山寺

洗堰

琵琶湖

午後二時
午後二時三十分

午後三時 南郷發 汽船
午後四時 濱大津 (滋賀縣主催)
午後四時 濱大津發

招待會

大阪歌舞伎座

第三班 午前九時 大阪城天守閣集合

視察

天守閣、大阪地下鐵道 午前十時

大阪

濱寺

和歌山

招待會

和歌浦萬波樓(晝食) (和歌山縣主催)

舊和歌浦

新田別莊

紀三井寺

招待會

大阪歌舞伎座

第五班 午前九時三十分 大阪市發

視察

龜ノ瀬(汽車中)

奈良

猿澤池

五重塔

招待會

奈良縣公會堂(晝食)

視察

春日山裏山

春日神社参拜

三笠山及二月堂

大佛殿

休憩中鹿寄(奈良縣主催)
午後一時發

午後二時二十分發
午後二時三十分發

午後二時四十五分
午後三時十分發

午後三時四十五分
奈良東向停車場發

招待會

大阪歌舞伎座

午後五時三十分(大阪府市主催)

午前九時
午前十時

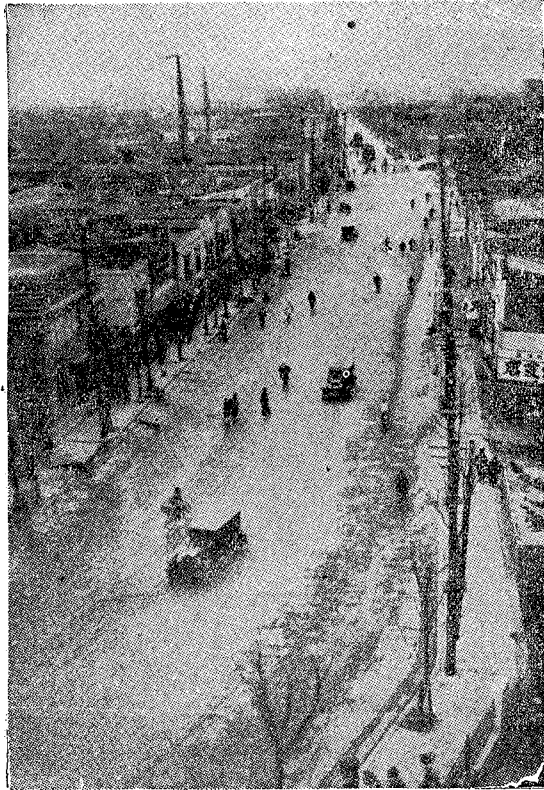
午前十一時三十分

阪和又ハ南海電車

PAVEMENT

淺野物産株式會社道路部

東京市麴町區丸ノ内一丁目六番地ノ一



新發賣品

瀝青乳劑「ウォーターファルト」
アサノアスファルトプロツク

アスファルト鋪裝

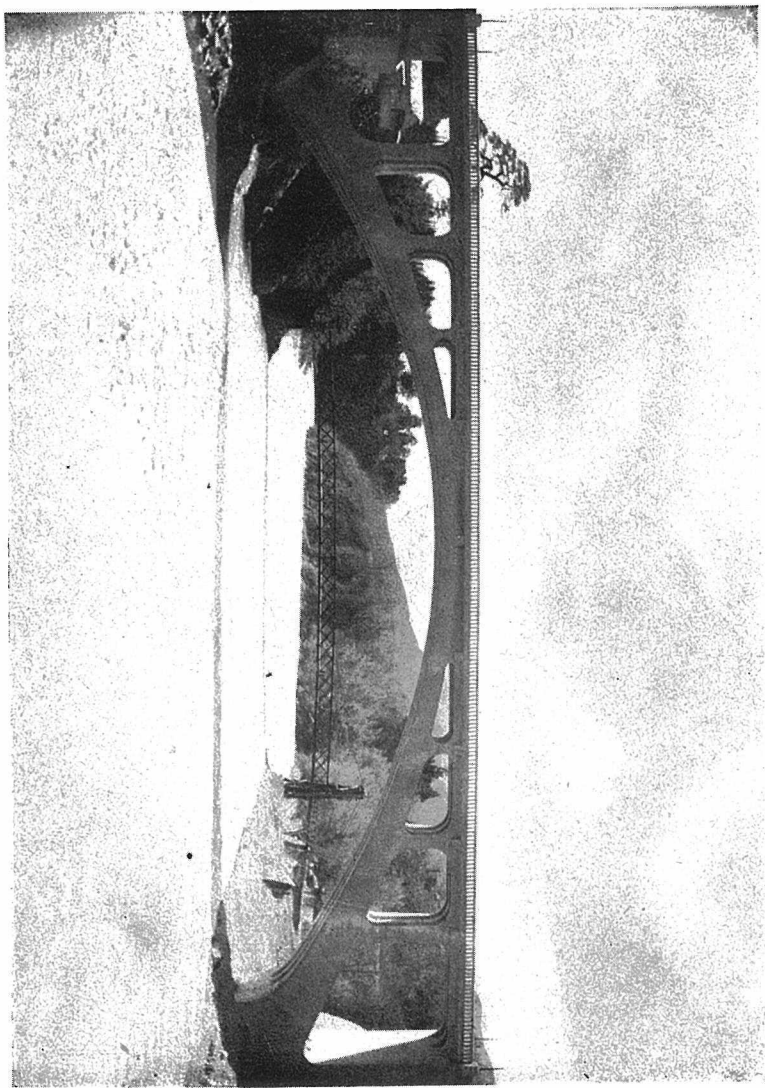
コンクリート鋪裝

A B C 式簡易鋪裝

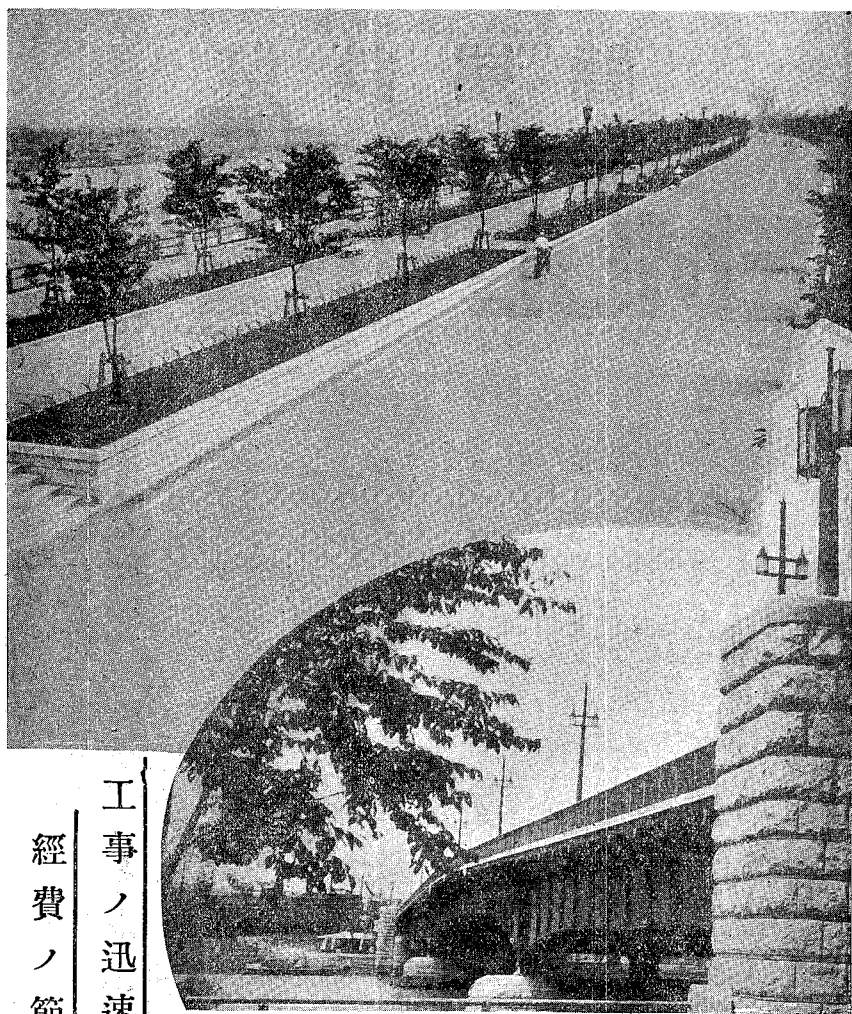
瀝青乳劑「ウォーターファルト」鋪裝

アサノアスファルトプロツク鋪裝

（縣野長）橋戶坂



（照參信通方地）



工事ノ迅速ト
経費ノ節約ニ

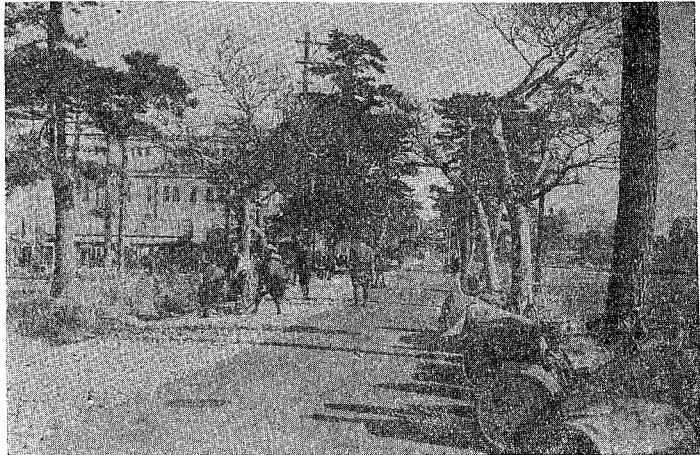
アサノベロセメント

淺野セメント株式會社

簡易舗装

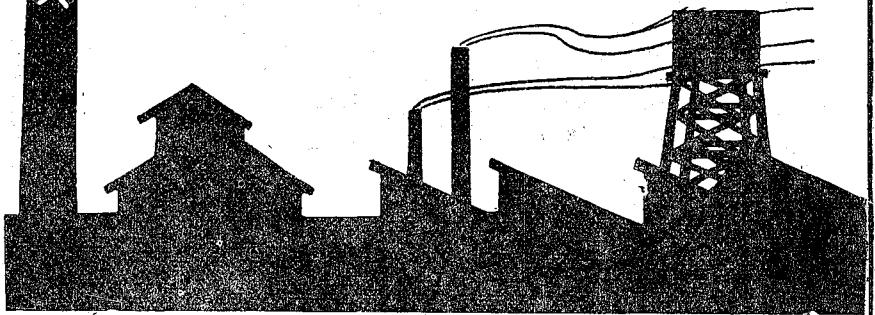
乳剤界の明星

EMULSION PHALT AS



埼玉縣鳩ヶ谷町エムラス舗装道路

エムラス



エムラス道路工業株式會社

東京市向島區吾嬬町西四ノ二四 電話墨田(74)二六三七番



營業科目

- 一 瀝青乳劑「アスメント」製造販賣
- 二 碎石、割栗其他土木用石材採掘販賣
- 三 道路鋪裝工事請負



瀝青乳劑

アスメント

瀝青工場 東京市芝区同見町二ノ四
 石材工場 静岡県田方郡対島村富戸

昭和五業株式会社

本社 東京市麹町区内幸町一ノ三(大阪ビルディング)
 電話 銀座(57)自5181一至5189番

道路の舗装は日舗ニッポへ

日舗ニッポは簡易舗装の元祖です

加熱式でも乳劑舗装でも

堅固チヨウブで安い日舗ニッポの舗装

アスファルト乳劑の舗装も砂利で出來ますローラー（輾壓機）は多數に持つて居ますから、多少共何卒御注文を願います。

營業種目

- ニッポ乳劑製造販賣
- 日舗乳劑舗装工事請負
- 日舗加熱舗装工事請負
- 其他各種道路一般工事請負

日本道路舗装株式會社

東京市麴町區丸ノ内三丁目十番地

電話丸ノ内(23) 四、八二九番
四、九八二番

札幌出張所

北海道札幌市北一條東五丁目十番地

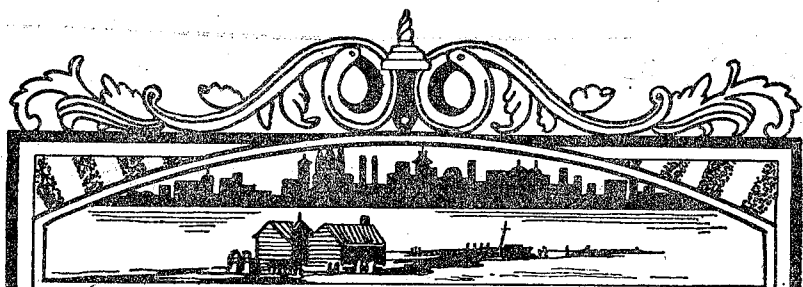
電話札幌園二九六一番

昭和八年

道路の改良

十月一日

第五十卷
第十號



卷 頭 言

本月二十五日に道路大會を大阪市に開催することは、既に報導したところである。吾等は之に依つて何を策せむとするか、曰く道路改良の民衆的要求を發露せしめむとするに在る、政府は曩に時局匡救事業の繼續執行を聲明し、道路の改良も亦本年度と同様執行すべき筋合なるに不拘、夙聞するところに依ると、所謂軍事費の支辨に重心を置きて財政を按配し、夫れが爲めには時局匡救事業費の減少も亦已むを得ざるものと爲すが如し、固より國防のこと國家生存上忽にする能はざるは當然にして吾人と雖其の負擔に吝さかならずと雖、之が爲に國民負擔力の原動力と爲るべき産業の振展に必要な支出を吝むが如きは吾人の探らざるところ、殊に道路の效用は獨り産業上に寄與するのみならず國防上にも缺くべからざる施設なるに於て然りと爲す、之を這般行はれたる防空演習の實際に徴し見るも、防空の完きを期するが爲には道路設備の完全に俟つもの頗る多く、之を措て他に何事を策するも亦效果渺きを知る。

道路改良の緊要なる此の如きを以て吾人は、假令財務當局が軍事費中心主義の下に豫算を編成することありとするも、時局匡救事業を續行せしめて、道路改良の促進を圖らむことを期す、天下憂國の士、來つて所信を強調せられむことを望む。